



おかやま環境ネットワーク

No.89
2017.11

NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク
〒700-0026 岡山市北区奉瀬町1-7-7
TEL/FAX 086-256-2565
E-mail:kankyounet@okayama.coop
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

体験プログラム開催報告

『カブトガニ博物館見学と エフピコ見学』

- 8月8日(火) 8時30分～16時
- 行先: 笠岡市立カブトガニ博物館
株式会社エフピコ福山リサイクル工場



- 参加者: 35名
- カブトガニ博物館では、瀬戸内海の自然を守るカブトガニ保全の取り組みや、干潟、いきものの役割、瀬戸内海の家ごみなどについて学び、エフピコ福山リサイクル工場では、発泡トレと透明容器のリサイクルの取り組み報告とライン見学をおし、処理現場から資源の有効活用について学びました。
- 参加者感想
 - ・一度壊された環境の再生の難しさを考えさせられました。
 - ・今すぐ私たちにできることを身近な人に伝えたいと思います。
 - ・普段何げなく流している生活排水について深く考えることができ、小さなことの積み重ねが大切だと感じました。
 - ・選別されている様子を見て、私もきちんと「洗う」「乾かす」をしようと思いました。環境についてたくさんさんの学びがありました。
 - ・水質汚染、ゴミの問題について考えさせられました。子どもと一緒に学ぶことのできる体験はとてもありがたかったです。

『森林公園を歩こう』

- 8月24日(木) 8時30分～17時30分
- 行先: 岡山市山上新最終処分場、岡山県立森林公園
- 参加者: 39名
- 講師: 長谷部勝己氏
(森林インストラクター)
- 山上新最終処分場では、廃棄物処理の現状を学び、岡山県立森林公園では、豊かな自然を体感し、木々の名前や謂れの学習を通じて森林を身近に感じ、その大切さについて学びました。



- 参加者感想
 - ・ゴミ処理の流れがよく分かりました。
 - ・現実をつきつけられ、ゴミへの関心がさらに高まりました。
 - ・木のことをいろいろ教えていただき、楽しく知識を深めることができました。自然を守り、大切にしていかなければと思いました。
 - ・講師の説明がとても分かりやすく、バスの中での説明も良かったです。
 - ・身近なゴミ問題から自然環境保全まで、環境問題は深いと思いました。
 - ・無理なく、楽しく、自然の勉強ができよかったです。
 - ・今日は2つの山を観た。人間が生活して出したゴミの最終処分場としての山、豊かな自然・心身ともにホッとする山。どちらも大切。考えさせられます。特別な一日をありがとう。

『みんなの自然観察会』

- 10月5日(木) 8時30分～16時
- 行先: 岡山県自然保護センター
株式会社大町(瀬戸内市)
- 参加者: 52名
- 講師: 山田哲也氏
(岡山県自然保護センター)
桜間博史氏
(株式会社大町営業部部长)

- 岡山県自然保護センターでは、動植物を観察しながらの散策で、豊かな自然の中で生物多様性等について学び、株式会社大町(日本一のだかし売り場もつたいない広場)では、会社のコンセプトをお聞きし、お買い物を通して「もつたいない」について考えました。

- 参加者感想
 - ・知らないことばかりで、大変勉強になりました。
 - ・もの知り先生が何でも回答してくれ、楽しく学習できました。



- ・今日の体験を日々の生活に役立てたいと思います。
- ・自然を守るため、まず知ること、そして伝えることが大切だということを教わり、実践していきたいです。
- ・自然に触れられ、いろいろな知識も習得でき、日常の生活観が変わりました。家族に伝えていきます。
- ・自然に触れる貴重な機会をありがとうございました。

市民のための環境講座 開催報告

『大野川いい川づくり

筍掘り体験』

- 5月3日(水) 10時～13時
- 会場：岡山市北区御津大野公会堂 周辺
- 講師：大野川いい川づくり代表・河太勝子氏
- 参加者：47名
- 自然豊かな大野川流域で、自然と触れ合い、その大切さを実感することを目的に開催しました。当日は、筍掘り体験と、収穫した筍を大釜で湯がき、お昼には、地元の食材を使用した「筍ご飯」をいただきました。



『笠岡アマモ再生教室①

アマモ場観察会と取組学習』

- 6月19日(月) 10時～12時
- 会場：笠岡市見崎集会所周辺
- 講師：神島寺間・見崎里浜づくり代表・森中憲治氏
- 参加者：36名
- 港から船に乗り、これまで保全活動をすすめてきたアマモ場の様子を観察しました。その後、集会所にて、アマモ場の役割や取り組みについて学習しました。



『捨ててはいけない！

～食品ロス問題を考える～』

- 7月7日(金) 10時～12時
- 会場：コープ西大寺
- 講師：岡山市エコ技術研究会 理事・稲見圭紅氏
- 参加者：24名
- 食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっている中、私たちの行動を見直し、どのように「食品ロス」問題に取り組むべきか、身近な事例をもとに普段の暮らしの中での取り組み事例について学習しました。



『紙はゴミじゃない』

- 7月27日(木) 10時～12時
- 会場：コープ総社東
- 講師：明和製紙株式会社・湯場俊一氏
- 参加者：41名
- 暮らしの中で紙ゴミの減量の工夫の仕方や、リサイクルの現状などについて学んだ後、参加者全員で紙すき体験でハガキを作り、各自持ち帰りました。



『笠岡アマモ再生教室②

種子採取体験』

- 8月2日(水) 10時～12時
- 会場：笠岡市見崎集会所周辺
- 講師：神島寺間・見崎里浜づくり代表・森中憲治氏
- 参加者：41名
- 海の中につけておいたアマモの種子を、浜辺で洗ってごみを取り除き、取り出す作業を行いました。集めた種子は、次回の播種ポット作成体験開催まで保管します。作業後、集会所にて、海の環境や、魚とアマモの関係などについて学習しました。



『大野川いい川づくり

川あそび』

- 8月20日(日) 10時～13時
- 会場：岡山市北区御津大野公会堂 周辺
- 講師：大野川いい川づくり代表・河太勝子氏
- 参加者：51名
- 5月3日の続編として、今回は実際に川に入り、いきものなどを探し、その解説を聴きました。また、お昼には、「そうめん流し」をしていただきました。



開催報告

水環境フォーラム

『廃水からの窒素処理に関する省エネ技術』

- 7月8日(土) 13時～16時45分
- 会場：オルガ5階スカーレット
- 参加者：19名

● 廃水には窒素が高濃度で含まれ、特に閉鎖性水域を抱える流域では廃水からの窒素除去が必須です。しかし、窒素の除去には従来多くのエネルギーを必要としてきました。

近年、新たなセンサーの開発とそれを利用した制御技術、または新しい微生物を使い、従来よりも少ないエネルギーで廃水から窒素を除去することが可能になってきました。

今回は、省エネルギー型窒素除去技術に関する研究開発の動向・事例について、4名の先生からご紹介いただきました。

● 講師と講演テーマ

- ・ 藤原拓・高知大学教授「オキシレーションディッチ法における二点 DO 制御システム～着想と開発経緯」
- ・ 中町和雄・前澤工業(株) 事業統括本部環境ソリューション事業部 オキシレーションディッチ法における二点 DO 制御システム～実用化と普及展開」
- ・ 大月孝将・岡山市下水道河川局下水道施設管理課副主査「アンモニアセンサーを用いた OD 法に係る送風量削減の取組み」
- ・ 西村文武・京都大学准教授「ANNAMOX プロセスの研究開発動向」



小・中学校連携アマモ場再生活動

『日生西小学校アマモ学習・ポット作成教室』

- 10月4日(水) 13時40分～15時
- 会場：備前市立日生西小学校
- 参加者：42名

● 備前市日生中学校の1年生の生徒と、日生西小学校5年生の児童が、海洋学習を通じて共に学び、これに市民団体等が加わり、地域と世代を越えた里海づくりに取り組むことを目的に開催しました。

当日は、小学生が環境ネットワークや日生中学校生徒と一緒に、事前に中学生が流れ藻を回収し採取しておいたアマモ種子を使って、アマモポットを作成しました。

今後、アマモの発芽の様子を観察し、1月か2月に近海に潜水作業により定植します。

ポット作成をとおり、アマモの生態を学び、アマモ場の再生が日生の漁業の活性化につながり、将来の日生を築いていくこと、さらには地球環境の改善に寄与することなどについて学びました。



体験プログラム

『大野川いきもの調査会』

- 10月8日(日) 10時～14時
- 会場：岡山市北区御津大野公会堂 周辺

● 講師：岩城孝志氏(岡山野生生物調査会)、柏雄介氏(岡山淡水魚研究会)、河原慎司氏(御津の「緑」と「清流」を守る会)、河太勝子氏(大野川いい川づくり)

● 参加者：36名

● 講師から現地の自然環境やいきもの生態、調査方法等について解説の後、6班に分かれ、いきものの観察と調査をし、最後に各講師からいきもの解説と、調査結果の報告がありました。

また、お昼には「いのししカレー」をいただきました。



● 参加者感想

- ・ きれいな川にすむいろいろないきものを実際に見て、先生から解説もわかりやすく、あらためてこの美しい自然を維持していくことの大切さを感じました。
- ・ 貴重ないきものを見ることができ、感激しました。



自然豊かな岡山とアユモドキ

櫛田 楓氏・岡山理科大学理学部動物学科 4年

みなさんは「アユモドキ」という魚をご存知でしょうか？「アユ」は知っているけど「アユモドキ」は知らないという方も多いかもしれませんね。今回は、アユモドキについて簡単にご紹介します。



アユモドキは、淀川水系・岡山県旭川・吉井川水系にしか分布していない、全国的にとっても珍しい日本固有種の淡水魚です。名前にアユという名前がついていますが、アユの仲間ではなく、ドジョウの仲間です。アユモドキは写真のように縞模様が特徴的ですが、体長が大きくなるにつれてこの縞模様はだんだん薄くなってきます。そうすると、体の色がアユに似てくるため、アユモドキという名前が付

いたそうです。

個体数の多かった時には、美味しく食べられていたそうです。今では食べることはできませんが、どんな味が気になりますね。

アユモドキは、国の天然記念物に指定されており、生息地も少なく個体数も激減していることから国際的に絶滅危惧種にも指定されています。アユモドキはなぜ数を減らしてしまったのでしょうか？要因はいくつかありますが、ここでは1つご紹介します。アユモドキは、氾濫原という場所で産卵をします。氾濫原とは、時折近くの水辺が氾濫し、草原が水につかるような場所の事を言います。アユモドキがまだたくさん生息していた頃、主に田んぼを産卵場として利用していたようです。しかし、近年の護岸や田んぼの整備、減少に伴って産卵場を失い数が減っていったのです。このことから、たくさんの方々アユモドキの絶滅を防ごうと、活動を続けています。

私がアユモドキと出会ったのは、絶滅を防ぐ活動の一つである人工繁殖という活動でした。アユモドキの人工繁殖は、小学校で行われています。専門家の先生立ち合いのもと、ワクチン

などを使わず児童が人工繁殖をする上で必要な作業を分担して行います。

人工繁殖が成功すると、児童が休み時間に餌やりや観察などを行います。小学生の時に地域の自然環境について学び、貴重な体験ができるということは、地域への愛着や生命の尊重などを育むとても素晴らしい機会だと思います。その小学校の児童が自主学习としてアユモドキについて学びに公民館へ足を運ぶ所を目にしたこともあります。知るといことは興味を持つ最初の窓口になると改めて実感しました。

私が岡山に初めて訪れた際に、生活環境のすぐ近くに水路があり、水が豊かで景色の綺麗な所だと感動しました。水路で魚取りをする子どもたち、魚釣りをする方、水路を覗き込む方や、毎年夏になると川や水路での魚とり講座が盛んに行われることなどから、岡山は水と人との関わりが深いように感じられます。また、岡山は生息している淡水魚の種数が全国トップクラスと言われています。このような豊かな環境を未来へ残していけるように、今後もできることから活動を続けていきたいと思っています。

櫛田 楓氏

- ・ 1995 年生まれ
- ・ 茨城県出身
- ・ 岡山理科大学理学部動物学科 4年

『市民のための環境講座』のご案内

| 日程 | テーマ・概要 | 講師/会場 |
|-----------------------|---|--|
| 11/20(月) 10～11時30分 | 『教えて…もずく』～もずくを通して里海の環境を考える～ もずくメーカー（株）井ゲタ竹内による沖縄県恩納村での 取り組み報告と食べ比べ。 | (株)井ゲタ竹内 ※会場:コープ大野辻(岡山市 北区今3-26-28) |
| 12/2(土) 10～11時30分 | 『地域の未来を考える～環境省の取り組み～』 持続可能な社会の構築に向けた環境省の取り組みを紹介 します。 | 中国四国地方環境事務所 環境対策課長・原田幸也氏 ※会場:オルガ5階(岡山市 北区奉還町1-7-7) |
| 12/10(日) 10～12時 | 親子企画『海のゆりかご アマモの話をきいてみよう』 アマモ場は“海のゆりかご”として重要なだけでなく地球 環境とっても重要な役割を果たしています。アマモ場の多面 的機能についてご紹介します。 | NPO法人里海づくり研究会議 理事・事務局長・田中丈裕氏 ※会場:コープ総社東(総社市 総社1370-3) |
| 1/23(火) 10～12時 | 『コアノロール(芯無トイレットペーパー)とリサイクルを学ぼう』 コアノロールメーカー(株)西日本衛材による学習会です。 | (株)西日本衛材 ※会場:コープ総社東 |
| 2/10(土) 13～15時 | 『持続可能な地域づくり～環境・社会・経済の調和を目指 して～』 地方創生が声高に叫ばれている中、地方は衰退するば かりであまり効果が上がっていません。その原因はどこにあ るのでしょうか?環境・社会・経済の視点から持続可能な 地域づくりについて参加者同士で議論しながら考えます。 | 吉備国際大学社会科学部教授 井勝久喜氏 ※会場:オルガ5階 |

- 受講料:無料、必ず事前にお申込みください。
 - 定数:40名(先着)。定数を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。
 - 対象:小学生以上、小・中学生は保護者同伴でご参加ください。
- ※お寄せいただく個人情報は厳重に管理し、各種企画のご案内など当財団からの連絡以外の使用や第三者への開示などは行いません。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7 (オルガ6階)

TEL/FAX:086-256-2565

携帯電話:070-2355-1420

E-mail:kankyounet@okayama.coop

HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

..... 切り取り線 (FAX・郵送の場合切り取ってください)

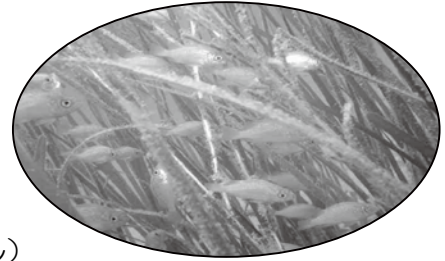
2017年度『市民のための環境講座』参加申込書

| | | | | | | | | | | |
|--------------|-------|--|------|--|-------|---|------|--|------|--|
| ふりがな 氏名 | | | | | 住所 | 〒 | | | | |
| 電話 | | | | | 携帯電話 | | | | | |
| 参加申込日 に○を | 11/20 | | 12/2 | | 12/10 | | 1/23 | | 2/10 | |

「地域と世代をつなぐ里海・里山交流シンポジウム」

～ 子どもたちの里海づくりを通じて ～

里海づくりをすすめる関係者、それら活動に興味ある人々が地域や世代を越えて集い、里海づくりの取組をすすめる学校の報告、事例紹介を通して、里海づくりに関する理解や交流をすすめ、更なる活動の推進につなげます。



- ◆日時：2018年1月27日(土) 13時30分～17時
- ◆会場：オルガホール（岡山市北区奉還町1-7-7、地下ホール）
- ◆予定内容（変更される場合がありますので、ご了承ください）

第1部 13時30分～

- ◇基調講演：古川恵太氏（笹川平和財団海洋政策研究所・海洋研究調査部長）
- ◇取組みをすすめている各学校からの報告
 - 岡山県立笠岡工業高等学校「地域と連携したアマモ場再生への取組」
 - 備前市立日生中学校「愚公山を移す ～先輩の思いを受け継ぎ、後輩に思いを託す～」

岡山学芸館高等学校
岡山市立小串小学校

休憩

第2部 15時30分～

◇パネルディスカッション

- コーディネーター：柳哲雄氏（NPO法人里海づくり研究会議副理事長、九州大学名誉教授）
- パネリスト：基調講演演者・古川恵太氏、取組報告学校の教師

◇司会：田中丈裕氏（特定非営利活動法人里海づくり研究会議理事・事務局長、(公財)おかやま環境ネットワーク理事）

- ◆参加費：無料、定員：100名（先着、参加できない場合のみおハガキにて連絡させていただきます）

※海洋政策研究所：国連海洋法条約等の新海洋秩序及び海洋の持続可能な開発利用を目指す国際的取組の下で、相互に密接な関連を有する海洋・沿岸域の諸問題に総合的かつ計画的に取り組むため、総合的な海洋政策及びそれを推進する具体的施策の策定・実施の推進に取り組んでいます。

- ◆申込：FAX・メール・郵送で下記「参加申込書」または必要事項を1月19日(金)までに、おかやま環境ネットワークまでご送付ください。

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）

FAX:086-256-2565 E-mail:kankyounet@okayama.coop

- ◆主催：日生町漁業協同組合、NPO法人里海づくり研究会議
生活協同組合おかやまコープ、公益財団法人おかやま環境ネットワーク里海づくり推進部会

協賛：備前市里海・里山ブランド推進協議会 with ICM

後援（申請中）：岡山県、岡山市、備前市、笠岡市

岡山ESD推進協議会



切り取り

1/27シンポジウム 参加申込書 (FAX:086-256-2565)

| | | | |
|------------|--------|----------|--|
| フリガナ 氏名 | | 電話 番号 | |
| 住所 | (〒 -) | 携帯 番号 | |

2018年度環境活動団体助成・協働事業募集要項

1. 目的：岡山県内で環境保全活動を行っている団体に資金の面から援助することにより、環境問題の解決に寄与します。また、おかやま環境ネットワークとの協働事業の提案を募集し相乗効果が期待できる事業化を図ります。
2. 募集対象：目的に添ったいずれかの分野で意欲のある取り組みをしている団体であれば応募できます（当財団の会員に限定していませんが、入会をお願いします）。ただし、申請は1団体1件とします。小・中・高等学校のクラブ活動等の場合は教師が申請することとします。当財団以外に助成の申請をしている場合、又は助成が決まっている場合は、その助成内容が重複しない範囲とします。
 - ・将来的に発展性のある活動を対象とします。
 - ・広く公開され、広報に努めていること。また、活動の成果が広く県民に普及し、県民の環境意識の向上につながり、環境保全・環境創造につながるもの。
3. 助成の対象となる活動：①. 調査研究、②. おかやま環境ネットワークとの協働事業、③. その他
4. 助成の対象となる実施期間：2018年4月1日～2019年2月28日
5. 助成対象費目
 - ①. 器具備品費：目的の達成に必要な器具、備品、書籍等（ただし、汎用性のあるものは対象外）
※汎用性とみなすもの：パソコン、カメラ、携帯電話、草刈り機等
 - ②. 物品資材購入費：目的の達成のために用いる各種材料、部品、薬品、文具類等
 - ③. 借料：会場借料、車両借料、機械などのリース及びレンタル料等
 - ④. 印刷費：報告書、チラシ作成等にかかわる印刷費（コピー代含む）等
 - ⑤. 通信交通費：送料、移動費用等 ※電話代は対象外
 - ⑥. 謝金：外部講師・専門家などへの謝金 ※助成申請団体の構成員への支払は対象外、単価と人数を記入してください。
6. 助成額：1件あたりの助成額は、調査研究分野と協働事業提案は20万円、それ以外は10万円を上限とします。
7. 募集期間：2017年11月1日～12月8日午後5時必着
※締切日以降、申請書の修正はできません。また、応募書類に不備があった場合も受付できませんので、なるべく早目にご提出ください。
 ※協働事業につきましては、別途内容の聞き取り確認をさせていただきますので、締切以前（提出前）に早目にご相談ください。
8. 応募方法：「助成事業・協働事業要望書」と「団体紹介表」に必要事項を入力の上、Eメールで送信ください。フォーマットは、ホームページから入手できます。
9. 助成の決定とその後の手続：選考は目的に沿った活動を重視し、必要性、将来性のある具体的な計画案であることを検討します。助成部会の審査を経て、2018年2月開催予定の理事会で助成額を含め助成の可否を決定し、その後選考結果を送付します。
 決定通知を受けた団体は同時に送付する「申請書」と「誓約書」を事務局に提出してください。助成金は「申請書」と「誓約書」が提出された後、2018年5月12日（土）午後オルガ（岡山市北区奉還町1-7-7）にて開催予定の『助成活動報告会』（参加は必須要件）参加後に、指定の銀行口座に振り込みます（それ以前の助成金交付希望は事務局にご相談ください）。
10. 活動報告など
 - ・助成を受けた全団体は助成活動終了後、「終了報告の手続き」に沿って「活動実績報告書」と「会計報告書」並びに「成果物」を提出し、『助成活動報告会』に出席し事業の成果を報告してください（必須要件）。助成終了後に活動がその後どのようなになっているのかを、当財団より聞き取りさせていただく場合もあります。
 - ・成果物及び報告書は広く当財団のホームページ等で広報します。
 - ・成果物及び報告書は必ず電子媒体で提出してください（ただし、成果物の電子媒体での提出が難しい場合は、現物を提出してください）。また、活動内容を写した写真データも提出してください。
 - ・助成期間終了時に余剰金が生じた場合や、期限までに報告書類の提出がない場合及び申請内容以外で使用した場合は返金させていただきます。

環境家計簿カレンダー 同封について

おかやま環境ネットワークと岡山市とが協働ですすめています「環境家計簿活動」の啓発資料として『おかやま環境家計簿カレンダー2018』ができましたので、会員の皆様、モニターの皆様に同封しています。

編集に携わった環境家計簿委員会のメンバーが、普段のくらしの中で、お伝えしたいポイントを簡潔にわかりやすく掲載しています。ご活用ください。



おかやま環境家計簿カレンダー2018

環境家計簿モニターの 皆様へのお願い

2017年下期(7月～12月)実績報告を、2018年1月末までにご報告いただきますよう、よろしくお願いたします。

2018年度事業 計画について

おかやま環境ネットワークでは、地域の皆様と一緒に環境保全に関する様々な取り組みをすすめています。

皆様と一緒に、2018年度の事業を計画してみませんか？

一緒に事業企画することにより、事業費の削減や、運営、広報等に関して、相乗効果が見込まれます。

団体・法人・個人は問いません。何かアイデア、企画等がありましたら、11月中旬に事務局までお気軽にご連絡ください。

ホテル団体交流会の ご案内

ホテルの保護、復活、再生を通して、環境保全活動をすすめる取り組みの交流をすすめています。

2018年2月3日(土)10時～、オルガ(岡山市北区奉還町1-7-7)会議室にて開催し、県内各地の取り組み交流をすすめます。

どなたでも参加できます(参加される場合、事前にご連絡ください)。

おかやまホテルフォーラム 資料の同封について

10月28日開催の『第15回おかやまホテルフォーラム』で、当日参加者の皆様にお配りした資料を同封しています。ご査収ください。



環境家計簿モニター 募集について

環境家計簿活動は、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認するものです。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。

環境家計簿のつけ方は簡単です。毎月の電気・ガス・灯油・自動車燃料・水道の使用量を、EmailかFaxで年2回(7月と1月)報告するだけです。

モニターにご登録いただきますと、毎年『環境家計簿カレンダー』や、環境家計簿のデータをまとめたレポートを進呈します。

- 申込締切：11月17日(金)
- 詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.okayama.coop/kankyounet/>

メールニュース配信希 望者募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。

配信希望の方はメールにて、件名『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前(必須)、連絡先・所属団体・会社名(任意)を送信してください。

現在1,300名にご登録いただいています。

個人・団体・企業 会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

【年会費】

個人・団体：2,000円

企業等：20,000円

大学生・大学院生・高校生：無料

.....
 2017年度会費をまだ納付い
 たっていない会員の皆様に
 振込用紙を同封しておりますの
 で、お振り込みくださいますよ
 う、お願いいたします(入れ違
 いでお振り込みいただい
 ましたらご容赦ください)。

会費は、企業・協同組合:1口
 2万円、団体・NPO法人・個
 人:1口2千円、1口以上をお
 願いたします。



発行：公益財団法人おかやま 環境ネットワーク

〒700-0026

岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)

TEL/FAX:086-256-2565

携帯電話:070-2355-1420

E-mail:kankyounet@okayama.coop